

立川市教育だより



たっちは

教育だよりの「たっちは」は、みんなの心や輝きへの「タッチ」を通して、「たちかわ」の地域・家庭・学校が手をつないで、生涯を通じた学びを推進したいという思いを込めて付けた名前です。

明るい照明の、広い図書室では、
正座して本が読める！



<廊下側の壁がない教室>



<マガジンラック風の廊下の壁>

見学のために廊下を通り、教室の中が丸見えです。教室と廊下を仕切るのは壁ではなく全面開き戸で、それは開放されています。(中にはこちらをちらちらと見る子もいましたが…)

教室から隣りの教室に通じるドアがあり、そこも開いていました。

隣りの教室は共同の部屋なので、この時は他のクラスが、グループに分かれ声を出して、総合学習の発表の練習をしていました。少人数指導にも使っているそうです。

校舎の内装も明るくさわやかな色合いの壁と、木を多用したぬくもりある空間は、気持ちがなごみますね。廊下の壁がマガジンラック風になっていて、いつでも本を手に取れる工夫がされているのも気に入りました。

その他にも魅力がいっぱい



<じゅうたんスペースのある図書室>

A Q この教室はいかがですか？
廊下や隣りの教室など広く使って、少人数形式や合同形式など、学習スタイルに変化をもたらせられ

A Q ここに聞いてみました
【先生に聞いてみました】

A Q 他に何か学校運営で変わったことは？
今まで当たり前だった職員朝会と放課後の小会議を廃止して、子どもと過ごす時間を増やしました。連絡事項はできるだけ職員室の掲示板ですませるなど、過去のやり方にとらわれないようにしています。また、地域のご協力に支えられたり地域に開放したりと、地域との一体感が増しましたね。

「何だか学校が変わったっていう感じがしたわ。」「そうね。今まで教室つて閉鎖された密室のイメージがあつたけど開放的だつたわね。」「授業にいろいろ変化ができるじゃない。先生たちは工夫しなくちゃいけないから大変だらうけど。それに見られるつていう緊張感もあらうし。」「でもだからこそ先生たちに意欲がわくんじない？なんか生き生きしてたわよ。」「それは子どもにとっていいことよね。あー新生小の子つて恵まれているわね。他の学校も改修してくれるないかしら。」「でも考えてみたら、設備は違つても、それなりに工夫してできることはあるはずよ。設備が無いから意味がないし。結局は人の力がものを使うつてことね。」

開校2年目を迎え、今年度新校舎に移った新生小学校はどんな学校なのでしょう。小学校PTA連合会会長の富永さんと、小林教育委員が訪問しました。

これが教室？

見学のために廊下を通り、教室の中が丸見えです。教室と廊下を仕切るのは壁ではなく全面開き戸で、それは開放されています。(中にはこちらをちらちらと見る子もいましたが…)

教室から隣りの教室に通じるドアがあり、そこも開いていました。

隣りの教室は共同の部屋なので、この時は他のクラスが、グループに分かれ声を出して、総合学習の発表の練習をしていました。少人数指導にも使っているそうです。

A Q このオーブン化された教室に、どのような成果を期待しますか？

A 最初のころ、子どもたちは開放感から校内を走り回っていました。授業では学級の枠を越えて、放課から校内を走り回っています。生方も学級だけでなく学年全体に目を向け指導にあたるようになりました。子どもたちは、このよう

がつて本が読めるのがいい」「屋

上の新生小のマークがかっこいい

（先生の手作りだそうです。）

（寝転がつてもいい？）

（がらりラックスして読書できます。）

（寝転がつてもいい？）

（寝

